

監訳者プロフィール

前川悠貴

翻訳家



『エクスカリバーの石を探して』

(“The Search for the Stone of Excalibur”)

「石物語」シリーズ第2作目となる本書では、1作目「聖なるスカラベの秘密」に負けずおとらず、ハラハラドキドキの冒険劇が繰り広げられます。アダムとこのジャスティンは、新たな仲間キムとともに、2つめのパワーストーンを追いもとめ英国へ。オクスフォードの古書店を訪れ、アーサー王の剣「エクスカリバー」の柄に埋め込まれている石がパワーストーンであると知ります。剣の保管されている博物館へ行くものの、その夜何者かによってパワーストーンが盗まれたうえ、アダムたちが泥棒扱いをされてしまいます。慌ててスコットランドの古城へ向かい、古代人の秘文書をもとめて城を探索しますが……彼らの背後には、強敵カリード博士と、得体のしれぬ脅威が忍び寄っていました！

ヤングアダルト作品の冒険ものといえば、『ハリーポッター』シリーズや『指輪物語』を思い浮かべる方も多いでしょう。本書はそういった売れ筋作品に引けを取らない、完成されたエンターテインメント作品です。

簡潔な目的、場面転換の早さ、随所に散りばめられたエピソード。物語は息をつく間もなく進行していきます。アーサー王伝説をはじめ、歴史的要素が豊富に盛り込まれている点も魅力の一つで、ヨーロッパの中世史ファンにはたまらないと思います。英国の趣のある風景やスコットランドの古城が目には浮かび、タイムスリップしたような感覚に陥ります。

物語の本筋である冒険劇だけでなく、アダム・ジャスティン・キムの友情をはじめとした人間関係のドラマも見どころです。アダムは思慮深く感じやすい少年で、物事を深く考え、夢を分析します。相棒のジャスティンとキムとともに謎を解き明かしていく場面は、彼らの仲間となった気分でわくわくするに違いありません。

作品のトーンは全体を通して明るく、会話文が多く読みやすいです。古代ラテン語等の馴染みのない言語も登場しますが、英語で説明されることも多いため、訳出時にもそれほど苦労しないでしょう。ストーリー展開がとにかく早く、エピソードが多いのが本書の特徴です。人気シリーズ第2作目をいち早く手に取って頂き、10代の読者の心を捉えるような訳文で、この作品の魅力を引き出してください！ ご応募お待ちしております。